

新潟県立中央病院 倫理委員会オプトアウト書式

①研究課題名	人工呼吸器管理下の腹臥位療法における褥瘡の傾向と課題
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2024年1月～12月の期間に人工呼吸器管理下に腹臥位療法を実施した患者様 研究責任者：新潟県立中央病院 看護部 松井ルミ子
③概要	腹臥位療法に伴う褥瘡発生の傾向とその要因を明らかにすること
④申請番号	第2516号
⑤研究の目的・意義	当院の救命救急センターにおいてもCOVID - 19の感染拡大に伴い、重症呼吸不全患者に対する腹臥位療法（うつ伏せ）が日常的となりました。マニュアルの整備やシミュレーション教育により医原性有害事象は認めていませんが、複数の患者において褥瘡（じょくそう）形成がありました。そのため、腹臥位療法に伴う褥瘡発生の傾向とその要因を明らかにすることにより、今後の予防的ケアが改善されるのではないかと考えました。 本研究により、褥瘡予防策が確立することは、医療資源の抑制や、患者のQOLの維持・向上に寄与する可能性があるため、意義があると考えます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年12月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む）	個人を特定するような情報（お名前・生年月日・ご住所）は収集しません。本研究により得られた情報は匿名化するため、個人が特定されることはありません。 今回の研究成果は学会や雑誌等で公表することがありますが、その際も個人を特定しうる情報は一切公表しません。
⑧利用または提供する情報の項目	対象者の診療録および看護記録より以下の情報を収集します。 <調査項目> 1. 基本情報：年齢、性別、BMI、栄養状態、腹臥位療法実施時間、重症度スコア、褥瘡ハイリスク項目、ECMO（体外式膜型人工肺）使用の有無 2. 褥瘡発生状況：部位、深さ
⑨利用の範囲	2026年 集中治療医学会学術集会にて発表予定
⑩資料・情報の管理について責任を有する者	新潟県立中央病院 看護部 松井ルミ子
⑪お問い合わせ先	新潟県立中央病院 看護部 松井ルミ子